※令和４年度以降入学生用

学校番号	1008

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	英語演習 A	2	2	5-minute test プロダクティブ英作文 Focus on Listening Elementary

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業は、１年次に学習した基礎的文法力・表現力を身に着けるための授業です。また文法の学習と並行して、リスニング教材を使用し聞く力も伸ばします。
・リスニングの際には、文法で学習した内容と聞き取れた英語を関連づけることでより正確に聞き取れるようになります。スクリプトを何回も音読することで、聞く力も伸ばしましょう。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・日常的な話題について、基本的な単文構造の英文を速さや使用されている語彙・量において、支援を活用すれば、必要な情報を聞きとることができる。 ・社会的な話題について、話される速さや使用される語彙・量について、必要な支援があれば、必要な情報を聞きとり、要点を理解できる。	・単文の構造を理解し、必要な情報の読み取り、書き手の意図を理解できる。 ・複文において、時制や修飾―被修飾の関係を理解し、必要な情報や書き手の意図を読み取ることができる。	・日常的な話題について、基本的な語句を用いて、必要な情報を相手とやり取りできる。 ・社会的な話題について、複文構造の文を用いて、自分の意見や伝えたり、相手の主張を理解できる。	・日常的な話題について、使用する語句や、事前の準備などに、必要な支援を活用して、自分の気持ちや主張を発表することができる。 ・社会的な話題について、様々な語彙や文を活用し、自分の意見や主張を論理構成を工夫して相手に伝えることができる。	・日常的な話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを書いて伝えることがきる。 ・社会的な話題について、多くの支援を活用することで、自分の意見や主張を論理展開を工夫して書いて伝えることができる。

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の語彙・表現・文法の働きなどの理解を深め、これらの知識を活用し読む・聞く・書くことによるコミュニケーションにおいて、状況に応じて適切に活用することができる。	・日常的な話題や社会的な話題ついて、場に応じた語句や表現や文法を活用して、情報や相手の意図や的確に理解できる。また、これを活用し伝え合うことができる。	・主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	文型 時制	聞くこと	a: 中学～高校基本レベルの英文を聞き取れる b: 単文構成の基本的な英文の聞き取りができる。 c: 音節と音の強弱の知識を活用して主体的な聞き取りができる。	リスニングテスト
		書くこと	a: 文の要素について理解できる。 b: 品詞の働きについて理解でき、第１文型～第５文型の基本的な英文を書くことができる c: 現在、過去、未来の基本時制について理解し、状況に応じて英文を書くことができる。	定期考査 課題
		読むこと	a: 文型と時制の用法を理解し、読み取りができる。 b: 文の構造を的確に把握し、正確な読みができる。 c: 基本時制について理解し、状況に応じて適切に読み取れる。	定期考査 課題
		話すこと	a: 英語の語順を意識して、英文を組み立て話すことができる。 b: 簡単な話題について、時制に注意して英語を話すことができる。 C：基本的な英文を用いて主体的に会話をすることができる。	課題
	中間考査			
	時制 助動詞	聞くこと	a: 高校基本レベルの英文を聞き取れる。 b: 基本的な対話文の聞き取りができる。 c: 強弱のリズムと母音について理解する。	リスニングテスト
		書くこと	a:「可能・能力」「許可・依頼」などを表す助動詞の意味と使い方を理解できる。 b:「義務・必要」「可能性・推量」などを表す助動詞を用いて適切な英文を書くことができる。場の状況にお自邸 c:さまざまな助動詞を用いて、基本的な英文を書くことができる。また様々な時制の表現を文脈に応じて適切に使用できる。	定期考査 課題
		読むこと	a:助動詞の意味と使い方を理解し、文脈の中で正確に読み取ることができる。 b:時制で正確に早くし、書き手の意図を正確に読み取れる。 c:さまざまな助動詞・時制が用いられた英文において、必要な情報を的確に主体的に読み取れる。	定期考査 課題
		話すこと	a: 助動詞を用いて、様々な動詞に意味を付け加え、自分の思いを表現できる。 b: 助動詞を用いて、「許可や依頼」などについてのやりとりができる c: 場の状況に応じて、適切な助動詞を選択できる。	課題
	期末考査			
2	準動詞	聞くこと	a: 複文の聞き取りができる。 b: 表や写真内容選択に関する聞き取りができる。 c:子音と音の同化について理解する。	リスニングテスト
		書くこと	a: 準動詞の基本用法を理解できる。 b: 準動詞を使って、状況に応じた英文を書くことができる。 c: 準動詞を理解し、状況に応じた場面で主体的に使用できる。	定期考査 課題
		読むこと	a: 準動詞の基本用法を理解し、文構造を正確に把握できる。 b: 準動詞を含む英文の修飾ー被修飾関係を的確に把握できる。 c: 準動詞を複数含む英文を正確に主体的に読み取れる。	定期考査 課題
		話すこと	a: 準動詞を用いた簡単英文を使って、自分の意思を表現できる。子音と音の同化を意識して発話できる。 b: 準動詞を用いて、適切に相手とやりとりできる。 c: 準動詞を用いて、主体的に自己表現できる。	課題
	中間考査			
	関係詞	聞くこと	a: まとまった英文の聞き取りができる。 b: グラフや地図問題の聞き取りができる。 c:語尾の子音の脱落と弱化表現について理解する。	リスニングテスト
		書くこと	a: 関係代名詞の基本用法を理解し、英文の構造に応じて使用できる。 b: 関係副詞の基本用法を理解し、適切な関係詞を選択できる。 c: 限定用法、非限定用法について理解し、関係詞を用いて適切な英文を書くことができる。	定期考査 課題
		読むこと	a: 関係代名詞の基本用法を理解し、主一述の関係を適切に把握できる。 b: 関係副詞を含む英文基本用法を理解し、英文の構造を正確に把握できる。	定期考査 課題

※令和４年度以降入学生用

			c: 関係詞を含む複雑な文構造の英文から必要な情報を的確に読みとれる。	
		話すこと	a: 誤字の脱落や弱化表現なんどに注意して自己表現できる。 b: 関係詞を用いた英文を使って、相手と会話することができる。 c: 関係詞を使用して、自分の気持ちを積極的に表現できる。	課題
	期末考査			
3	比較 仮定法	聞くこと	a: 高校レベルの英文を聞き、内容把握ができる。 b: 地図やグラフ、対話文など様々な問題に関する聞き取りができる。 c: 発音や音変化について理解したことを、主体的に聞き取りに生かせる。	リスニングテスト
		書くこと	a: 原級、比較級、最上級の基本用法を理解し、適切な英文を書くことができる。 b: 場の状況に応じて、適切な比較表現を選択できる。 c: 仮定法の基本用法を理解し、仮定法の基本的な文を書くことができる。	定期考査 課題
		読むこと	a: 原級、比較級、最上級の基本用法を理解し、適切な英文を書くことができる。 b: 場の状況に応じて、適切な比較表現を選択できる。 c: 仮定法の基本用法を理解し、文脈の中で仮定法の基本的な文を読み取れる。	定期考査 課題
		話すこと	a: 音変化に注意して、発話することができる。 b: 比較や仮定法を使用し、状況に応じた会話のやり取りができる。 c: 比較や仮定法を使用し、積極的に自分の意見を表現できる。	課題
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度